

# 【資料6】

## 第3期障がい福祉計画のサービス見込み量に対する実績について

サービス種別		単位		24年度	25年度	26年度	26年度達成率 (実績(b)/計画(a))	達成状況	評価と課題(修正後)			
指定障害福祉サービス	訪問系サービス	居宅介護	時間分(3月分)	計画(a)	29,910	33,495	36,854		計画した見込み量に対して、ほぼ達成できた(80%以上～100%未満)	利用者数及び利用時間の増加が続いているため、今後も新規事業所を確保していく必要がある。 (※利用時間については、3月分は前年に比べ減少しているが、年ベースは増加している)		
			実績(b)	25,525	27,172	26,593	72.2%					
		人分	計画(a)	926	1,037	1,141						
			実績(b)	818	916	942	82.6%					
		行動援護	時間分(3月分)	計画(a)	961	979	997				計画した見込み量に対して、ほぼ達成できた(80%以上～100%未満)	事業を行うために必要な人材の確保が困難なため、新規事業所の参入が難しい状況にある。
			実績(b)	1,176	1,189	935	93.8%					
	人分	計画(a)	54	55	56							
		実績(b)	68	63	68	121.4%						
	同行援護	時間分(3月分)	計画(a)	2,213	2,326	2,445		達成できた(100%以上)	利用者数及び利用時間の増加が続いているため、今後も新規事業所を確保していく必要がある。 (※利用時間については、3月分は前年に比べ減少しているが、年ベースは増加している)			
		実績(b)	3,096	3,495	3,401	139.1%						
	人分	計画(a)	151	157	163							
		実績(b)	160	173	182	111.7%						
	重度訪問介護	時間分(3月分)	計画(a)	6,284	6,598	6,598				達成できた(100%以上)	利用者数及び利用時間の増加が続いているため、今後も新規事業所を確保していく必要がある。また、平成26年4月からは、行動障がいがある知的・精神障がい者に対象が拡大しており、行動障がいの支援技術を持つヘルパーを確保する必要がある。	
		実績(b)	8,149	9,490	10,118	153.3%						
	人分	計画(a)	20	21	21							
		実績(b)	23	27	29	138.1%						
	重度障がい者等包括支援	時間分(3月分)	計画(a)	372	372	372		その他	事業所がないため、他のサービスで対応している。			
		実績(b)	0	0	0	0.0%						
人分	計画(a)	1	1	1								
	実績(b)	0	0	0	0.0%							
日中活動系サービス	短期入所	時間分(3月分)	計画(a)	1,640	1,736	1,808				計画した見込み量に対して、ほぼ達成できた(80%以上～100%未満)	長期利用者や定期利用者が多く、緊急時の利用が困難な状況となっているため、今後も新規事業所を確保していく必要がある。	
		実績(b)	1,375	1,468	1,663	92.0%						
	人分	計画(a)	205	217	226							
		実績(b)	192	237	303	134.1%						
	生活介護	人日分(3月分)	計画(a)	27,148	28,490	29,612		計画した見込み量に対して、ほぼ達成できた(80%以上～100%未満)	特別支援学校卒業生などの利用拡大が見込まれるため、今後も新規事業所を確保していく必要がある。特に、重症心身障がい者や強度行動障がい者が利用できる事業所の確保は重要課題である。			
		実績(b)	25,278	26,994	27,742	93.7%						
	人分	計画(a)	1,234	1,295	1,346							
		実績(b)	1,149	1,227	1,261	93.7%						
	療養介護	人分	計画(a)	109	109	109				計画した見込み量に対して、ほぼ達成できた(80%以上～100%未満)	1病院で実施しているが、待機者もあり、待機者の在宅生活サービスの充実が課題である。	
		実績(b)	108	111	107	98.2%						

サービス種別		単位		24年度	25年度	26年度	26年度達成率 (実績(b)/計画 (a))	達成状況	評価と課題（修正後）		
指定障害福祉サービス	日中活動系サービス	就労移行支援	人日分 (3月分)	計画(a)	2,618	3,080	3,982		達成できた(100%以上)	利用者数及び利用日数の増加が続いているため、今後も新規事業所を確保していく必要がある。	
				実績(b)	2,948	3,608	4,202	105.5%			
			人分	計画(a)	119	140	181				
				実績(b)	134	164	191	105.5%			
		就労継続支援（A型）	人日分 (3月分)	計画(a)	1,210	1,430	1,760		達成できた(100%以上)		
				実績(b)	1,408	1,980	2,992	170.0%			
	人分		計画(a)	55	65	80					
			実績(b)	64	90	136	170.0%				
	就労継続支援（B型）	人日分 (3月分)	計画(a)	19,118	19,602	20,108		達成できた(100%以上)	今後も、特別支援学校からの卒業生などサービス希望者を安定的に受け入れできるよう、事業所数や定員数等を注視していく必要がある。		
			実績(b)	23,276	24,046	28,424	141.4%				
		人分	計画(a)	869	891	914					
			実績(b)	1,058	1,093	1,292	141.4%				
	自立訓練（機能訓練）	人日分 (3月分)	計画(a)	22	22	22		達成できた(100%以上)		計画策定時、1事業所で実施していたが、その後、施設の体系移行に伴い、利用者が増加し、見込を大幅に上回った。	
			実績(b)	484	418	506	2300.0%				
		人分	計画(a)	1	1	1					
			実績(b)	22	19	23	2300.0%				
	自立訓練（生活訓練）	人日分 (3月分)	計画(a)	858	1,034	1,232		計画した見込み量に対して、ほぼ達成できた(80%以上～100%未満)	標準利用期間が設定されているサービスであるが、当該利用期間を超えて利用しているものもあり、訓練の適切な効果を見極める必要がある。		
			実績(b)	1,562	1,276	1,210	98.2%				
人分		計画(a)	39	47	56						
		実績(b)	71	58	55	98.2%					
サービス系	施設入所支援	人分	計画(a)	630	630	630		計画した見込み量に対して、ほぼ達成できた(80%以上～100%未満)		待機者の地域での安定した生活の支援、地域移行への推進が必要となる。	
			実績(b)	629	627	628	99.7%				
	共同生活介護（ケアホーム）	人分	計画(a)	175	205	235		その他	平成26年4月から共同生活援助に一元化された。 (※共同生活援助に合算)		
			実績(b)	160	179	0	0.0%				
	共同生活援助（グループホーム）	人分	計画(a)	114	134	154		計画した見込み量に対して、ほぼ達成できた(80%以上～100%未満)			地域移行の観点から、新規住居の開設を増やしていく必要がある。 (合算344/389=88.2%)
			実績(b)	123	123	344	223.4%				
相談支援	計画相談支援	人(月)	計画(a)	197	392	589		達成できた(100%以上)		相談支援体制を強化するため、今後も新規事業所を確保していく必要がある。	
			実績(b)	198	492	611	103.7%				
	地域移行支援	人(月)	計画(a)	14	14	14		計画した見込み量に対して、達成できなかった(60%未満)			
			実績(b)	4	6	5	35.7%				
	地域定着支援	人(月)	計画(a)	16	20	24		計画した見込み量に対して、達成できなかった(60%未満)			
			実績(b)	5	10	8	33.3%				

サービス種別		単位		24年度	25年度	26年度	26年度達成率 (実績(b)/計画(a))	達成状況	評価と課題(修正後)	
地域生活支援事業	相談支援事業	箇所	計画(a)	9	9	9		達成できた(100%以上)	全区に相談支援事業者を配置し、障がいのある方からの相談に対応した。	
			実績(b)	9	9	9	100.0%			
		基幹相談支援センター	設置の有無	計画(a)	有	有	有		計画した見込み量に対して、達成できなかった(60%未満)	平成27年度からの開設に向け、基幹型相談支援センターとして業務を開始し、相談支援を行った。
				実績(b)	無	無	無	—		
	市町村相談支援機能強化事業	実施の有無	計画(a)	有	有	有		達成できた(100%以上)	地域移行を希望する相談が増えており、ニーズに即したグループホーム等の体制整備が求められる。	
			実績(b)	有	有	有	—			
	住宅入居等支援事業	実施の有無	計画(a)	有	有	有		達成できた(100%以上)	新潟県居住支援協議会等を通じ、引き続き居住支援を行っていく。	
			実績(b)	有	有	有	—			
	成年後見制度利用支援事業	人(年)	計画(a)	4	5	6		達成できた(100%以上)	今後にも必要な人にサービスの提供が行われるよう、事業の周知を図る必要がある。	
			実績(b)	4	7	8	133.3%			
	コミュニケーション支援事業	手話通訳者設置事業	人	計画(a)	11	11	11		達成できた(100%以上)	各区役所の窓口に手話通訳者を設置することにより、聴覚に障がいのある方が安心して窓口で相談・手続きができる環境を整えることができた。
				実績(b)	11	11	11	100.0%		
		手話奉仕員・要約筆記奉仕員派遣事業	派遣延べ人数(年)	計画(a)	1,673	1,737	1,801		達成できた(100%以上)	平日の日中に派遣できる奉仕員の養成が課題である。
				実績(b)	2,074	2,100	1,901	105.6%		
	日常生活用具給付等事業	介護・訓練支援用具	件(年)	計画(a)	55	55	55		達成できた(100%以上)	制度の周知が進み、一定程度の用具が普及されたが、今後にも実情に合った給付を行うため、給付品目や基準額などを見直す必要がある。
				実績(b)	58	53	61	110.9%		
自立生活支援用具		件(年)	計画(a)	215	230	244		計画した見込み量に対して、やや達成できなかった(60%以上～80%未満)	今後にも実情に合った給付を行うため、給付品目や基準額などを見直す必要がある。	
			実績(b)	193	171	187	76.6%			
在宅療養等支援用具		件(年)	計画(a)	267	271	275		計画した見込み量に対して、やや達成できなかった(60%以上～80%未満)	今後にも実情に合った給付を行うため、給付品目や基準額などを見直す必要がある。	
			実績(b)	270	286	218	79.3%			
情報・意思疎通支援用具		件(年)	計画(a)	228	248	267		計画した見込み量に対して、やや達成できなかった(60%以上～80%未満)	今後にも実情に合った給付を行うため、給付品目や基準額などを見直す必要がある。	
	実績(b)		208	173	166	62.2%				
排せつ管理支援用具	件(年)	計画(a)	12,755	13,076	13,397		計画した見込み量に対して、ほぼ達成できた(80%以上～100%未満)	今後にも実情に合った給付を行うため、給付品目や基準額などを見直す必要がある。		
		実績(b)	12,320	13,452	12,593	94.0%				
居宅生活動作補助用具(住宅改修費)	件(年)	計画(a)	51	59	66		計画した見込み量に対して、達成できなかった(60%未満)	今後当制度の周知を図る必要がある。		
		実績(b)	32	24	24	36.4%				
移動支援事業	人	延時間(年)	計画(a)	757	783	811		達成できた(100%以上)	利用者数及び利用時間の増加が続いているため、今後にも新規事業所を確保していく必要がある。平成27年度は、国において移動支援のあり方の見直しに向けて議論される予定であり、その動向を注視する必要がある。	
			実績(b)	1,020	1,081	1,139	140.4%			
		延時間(年)	計画(a)	91,064	95,707	100,584				
			実績(b)	102,917	102,941	108,610	108.0%			
地域活動支援	基礎的事業(自市分)	箇所	計画(a)	36	38	40		達成できた(100%以上)	地域のニーズや各事業所の特性を踏まえ、今後の施設整備の在り方を検討していく必要がある。	
			実績(b)	42	38	41	102.5%			
		人	計画(a)	751	781	811				
			実績(b)	770	888	917	113.1%			

サービス種別		単位		24年度	25年度	26年度	26年度達成率 (実績(b)/計画(a))	達成状況	評価と課題(修正後)	
地域生活支援事業	地域活動支援	基礎的事業(他市町村分)	箇所	計画(a)	2	2	2		達成できた(100%以上)	利用者のニーズに応じて利用できるよう他市町村との連携を図る必要がある。 平成27年度から五泉市、新発田市、聖籠町、燕市と市外在住者の利用に関する協定書を締結予定。
				実績(b)	2	2	2	100.0%		
			人	計画(a)	17	17	17			
				実績(b)	23	24	26	152.9%		
		機能強化事業(自市分)	箇所	計画(a)	28	31	34		計画した見込み量に対して、ほぼ達成できた(80%以上~100%未満)	
				実績(b)	30	28	28	82.4%		
	人		計画(a)	675	720	765				
			実績(b)	619	752	706	92.3%			
	機能強化事業(他市町村分)	箇所	計画(a)	2	2	2		達成できた(100%以上)	利用者のニーズに応じて利用できるよう他市町村との連携を図る必要がある。 平成27年度から五泉市、新発田市、聖籠町、燕市と市外在住者の利用に関する協定書を締結予定。	
			実績(b)	2	1	2	100.0%			
		人	計画(a)	17	17	17				
			実績(b)	19	20	26	152.9%			
発達障がい者支援センター運営事業	箇所	計画(a)	1	1	1		達成できた(100%以上)	今後も利用者のニーズに応じたサービスが提供できるよう、支援体制を検証していく必要がある。		
		実績(b)	1	1	1	100.0%				
	人(年)	計画(a)	650	650	650					
		実績(b)	1,168	1,184	924	142.2%				
障がい児等療育支援事業	箇所	計画(a)	1	1	1		達成できた(100%以上)		障がい児支援コーディネーターと連携し、継続した支援を行った。今後は基幹相談支援センターで引き続き相談を行っていく。	
		実績(b)	1	1	1	100.0%				
その他の支援事業	日中一時支援事業	日分(年)	計画(a)	20,608	23,369	26,500		計画した見込み量に対して、達成できなかった(60%未満)	前年比では利用者数が増えたが、利用実績は見込みを大きく下回った。なお、放課後等デイサービスの利用が増加していることも要因の一つと考えられる。	
			実績(b)	15,218	14,014	14,523	54.8%			
	生活サポート事業	延時間(年)	計画(a)	240	240	240		達成できた(100%以上)	居宅介護を希望する、障害支援区分が非該当の方へ支援を行うことができた。	
			実績(b)	435	440	264	110.0%			
	訪問入浴サービス事業	人	計画(a)	56	60	64		計画した見込み量に対して、ほぼ達成できた(80%以上~100%未満)	平成26年度より夏季の利用可能回数を拡大するなど、重度身体障がい者の福祉の向上に資することができた。	
			実績(b)	59	62	59	92.2%			
	更生訓練費・施設入所者就職支度金給付事業	件(年)	計画(a)	2,318	2,758	3,282		計画した見込み量に対して、やや達成できなかった(60%以上~80%未満)	更生訓練費については、給付件数が増加しており、障がい者の自立と社会参加の促進に寄与した。就職支度金については、多様化する雇用形態への対応及び雇用定着促進の観点から、事業の在り方を検討していく必要がある。	
			実績(b)	2,116	2,581	2,549	77.7%			
	福祉ホーム事業	箇所	計画(a)	2	2	2		計画した見込み量に対して、達成できなかった(60%未満)	グループホームへの移行を視野に入れながら、今後の事業の在り方を検討していく必要がある。	
			実績(b)	2	2	1	50.0%			
		人	計画(a)	20	20	20				
			実績(b)	16	13	9	45.0%			
障がい者ITサポートセンター運営事業	箇所	計画(a)	1	1	1		達成できた(100%以上)	限られた人的資源で効果的な支援を行うため、医療関係者や教育関係者に知識、ノウハウを周知、啓発していく必要がある。		
		実績(b)	1	1	1	100.0%				
手話奉仕員等養成研修事業	手話奉仕員養成研修	登録者数(人)	計画(a)	151	156	161		計画した見込み量に対して、やや達成できなかった(60%以上~80%未満)	平日の日中に派遣できる奉仕員を養成する必要がある。	
			実績(b)	112	119	125	77.6%			
	要約筆記奉仕員養成研修	登録者数(人)	計画(a)	140	150	160		計画した見込み量に対して、やや達成できなかった(60%以上~80%未満)	平日の日中に派遣できる奉仕員を養成する必要がある。	
			実績(b)	106	116	119	74.4%			